

WILLARD

もの凄い事が起こります！
あなたは信じられますか



- ブルース・デービソン
- アーネスト・ボーグナイン
- ソンドラ・ロック
- エルザ・ランチェスター
- マイケル・ダンテ
- デラックスカラー

* この映画は1人で見てはいけません



ウィルダード

総指揮チャールズ・A・プラット／製作モート・ブリスキン／監督ダニエル・マン／音楽アレックス・ノース

松竹映配・配給



CRDI・提供

ウィラード

デラックスカラー



この映画は
一人で
見ないで下さい

解説

72年正月映画の話題を独占するとても面白い作品が日本に上陸しました。

異色性ばつぐん、想像を絶する物語展開の面白さ。アメリカをはじめ、欧米の観客を興奮の渦に叩き込んだ傑作ウィラード。今、このストーリーのすべてを、あえてペールに包みます。あなた自身の眼で、この驚きと興奮を確かめるまで……

約九年前、アルフレッド・ヒッチコックの「鳥」という傑作映画がありました。また、数年前「狼の惑星」のショック性に度肝を抜きました。ウィラードはそれをさらにしのぎ、凄惨な迫力であなただけに迫る異色大作です。こんな事が本当にあるの、うか……信じられないおどろきとショックがあなただけに包みます。何しろ数百匹のねずみが人間を襲い人間の上位にたつのですから。

主演は、去年の夏、「いちご白書」でメキキ売出した若手ナバーワンのブルース・デービソン。「愛されど心ざびしく」の新星ソンドラ・ロックをはじめ「フーティ」、「ワイルド・パンチ」などの名優アーネスト・ボグナイン、ナタリーの朝のエルザ・ランチェスター、好漢マイケル・タンテンなどのベテランが脇をがっちりかためています。

監督は「愛しのシバよ帰れ」、「バラの刺青」、「バターフィールド8」最近では「愛は心に深く」などを手がけ巨匠の名をはしりまにまにしているダニエル・マン。この映画ではスリリングな場面の連続で、その名演出ぶりは各批評家・ファンから絶賛されています。

音楽は「ソルジャー・ブルー」の名手ロバート・B・ハウザーが担当。原作は全米で驚異的なベスト・セラーとなつて本屋さんがうばいあつて仕入れたという問題作。

皆様に傑作・大作を贈る当劇場が
選びに選んだお正月映画です！

＊お得な特別鑑賞券・当劇場窓口で発売

12月18日(土)から
新春第一弾ロードショー

東 東 劇 (541)
銀座 座 3651-2

全世界が湧きに湧いた超大作！
この面白さを楽しんだファンから
熱気と興奮の一報が届きました！

ジョージア州立大学に留学中の久保田芳則さん、22才学生は、次の便りを寄せてくれました
「先日、今こちらで大評判のウィラード。見て来ました。あの凄惨な迫力で全篇ワタク、ゾクゾクの連続。これほどスリリングに満ちたアイデア、物語展開の面白さ。久しぶりにアメリカ映画らしい映画を楽しみました。」

シカゴ在住のキャシー・ロビンソンさん17才、学生は、日本のペン・パルにウィラードのすばらしさを伝えて来ています
「わたしは若者の間で一大センセーションを巻き起している最新映画を紹介します。それはWILLARD。とても恐いんです。でもスクリーンから目を離せないほどの緊迫感で圧倒されてしまいます。とくにラスト・クライマックスの連続は、とても興奮させられました。あまりのショックに映画が終わってもしばらく席を立てませんでした。」

日本ではいつ公開されますか、あなたも楽しみにしていて下さい。
先ごろ、ニューヨーク駐在から帰任した商社マン新山好一郎さんは、ウィラードの人気ぶりを
「ニューヨークのセントハウス劇場に連日長蛇の列。それに連れてわたしも入って来た。場内は凄惨な熱気、陽気なアメリカ人たちが、シーンと静まりかえつたり、驚いて声をあげたり、本当に映画のスリルを味わっているといった感じ。わたし自身、この映画の面白さを十分堪能した。」

こんなことがあるのでしょうか？信じられないもの凄い事がおきます。
映画でなければ描けないアイデアと面白さがあなたをショックにつつまます！

都市名	劇場名	DAYS	興収 \$
NEW YORK	セントハウス劇場	24	401,921
CHICAGO	R K O 劇場	19	243,757
PHILADELPHIA	ウッヂェス劇場	20	118,936
DETROIT	ダックス劇場	25	116,096
ST. LOUIS	フィクス劇場	12	107,804
ATLANTA	ルイスステイト劇場	32	102,251
WASHINGTON	ロキパシ劇場	21	98,756
BOLTIMOIR	エイフエ劇場	26	91,368
DENBER	メフェ劇場	17	57,759

このヒット記録が面白さを証明！

「ウィラード」が全世界で公開されるや、各国で爆発的な大ヒットを記録。アメリカ各地では、ニューヨーク、シカゴ、フィラデルフィア、デトロイト、セントルイス、ワシントンなどで驚異的なロングランを続けており、アトランタ、マイアミ、タンパなどの上映館では、それぞれ開館以来の動員・興収を記録。
ロンドンからの報告では、最初の封切館、カルトン劇場で、「作品の劇場記録を樹立。各紙の評論はすべて絶賛しており、世界的なヒット記録の樹立は疑う余地がない」としています。

カナダからCIRCO本社に入った報告では、カナダ全域においてウィラードは驚異的な興行成績を上げたといわれています。
モントリオールのパレス劇場ではこの人気作品は第一週で劇場記録二八、九三三ドルを上げ、第二週の五日間において、すでに二二二七九ドルを上げています。バンクーバーでも最初の四日間で一六、九一〇ドルをオルフィン劇場で、デルタ・ドラリア・インでは二一、八一一ドル、パラマウント劇場では七、四九一ドル、カルガリーでは最初の二週で、劇場興行記録一、四九七ドル、ハリファックスの一週はキャピトル劇場で七、三九〇ドル、サンキビル・ドライブインで八、一九六ドル、ロンドン・オンタリオ・センチュリー劇場で二、三、一九四ドルを記録したと報告されてきました。

全米ジャーナリズムが騒然

「ニューヨーク・マガジンは、この映画は、身も震えるほど、ゾクゾクする迫力をもったスリラーである。監督のダニエル・マンは大きな作品をつくってしまった。」
「ニューヨーク・デイリー・ニュースは、観客はきつとゾクッとする恐怖で目をおおい、思わずすくんでしまおう。」
「キュー・マガジンは、身体がゾクゾクし、震えあがらせる。この映画を絶対に一人で見て行つてはいけない。」
「キング・ライター・シンジケートは、この映画は、ヒッチコックの『鳥』以上の迫力がある。万人必見の映画である。」

作品別週間興行収入ベスト7 (8月中旬現在)

ウィラード……………拡大(29館)	3週目 (5日間)	\$ 251,867
ジョン・コネリー 盗聴作戦……………	(26館) 1週目	\$ 150,000
コール・ガール……………	(17館) 2週目	\$ 125,000
世界の果ての灯……………	(24館) 1週目	\$ 110,000
ピノキオ……………	(19館) 2週目	\$ 103,000
ある愛の詩……………	(10館) 4週目	\$ 50,000
ウィリー・ウォンカとチョコレート工場……………	(12館) 3週目	\$ 50,000